

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公開番号】特開2005-223404(P2005-223404A)

【公開日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2004-26638(P2004-26638)

【国際特許分類】

<i>H 01 Q</i>	<i>21/30</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>1/38</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>5/01</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>9/18</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>21/10</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 01 Q</i>	<i>21/30</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>1/38</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>5/01</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>9/18</i>
<i>H 01 Q</i>	<i>21/10</i>

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月31日(2007.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

このように構成されているので、2.4GHz帯のダイポールアンテナ6と共にアンテナ14とによって2.4GHz帯のコリニアアンテナが構成され、5.2GHz帯のダイポールアンテナ10と共にアンテナ14とによって5.2GHz帯のコリニアアンテナが構成されている。コリニアアンテナの構成要素である2.4GHz帯のダイポールアンテナ6は、2組の2.4GHz帯のダイポールアンテナからなり、同じくコリニアアンテナの構成要素である5.2GHz帯のダイポールアンテナ10も、2組の5.2GHz帯のダイポールアンテナからなる。ダイポールアンテナ6と共にアンテナ14とは、平行線路4における2.4GHz帯の1波長に相当する距離だけ離れて、それらの給電点が平行線路4によって接続されている。同様にダイポールアンテナ10と共にアンテナ14とは、平行線路4における5.2GHz帯の1波長に相当する距離だけ離れて、それらの給電点が平行線路4によって接続されている。なお、このアンテナは、表面2a及び裏面2b全域に金属薄膜が形成された基板2をエッチングすることによって形成することができる。